

# ふるさと復興 子ども版画展

期間：2013年 5月13日～6月18日

場所：雄勝町 オーリンクハウス

本展は、石巻市立雄勝小学校の5年生と6年生が、2012年に制作した木版画の作品展です。雄勝の自宅と校舎を流された子ども達は、震災後は飯野川地区の河北中学校に間借りして、授業を2年間受けてきました。学校としては、ふるさとを復興する大人の姿こそが子ども達に“希望”を与えると考えて、震災1年目の2011年9月から総合学習の時間を活用して、地域復興を行っている大人に出会わせる「復興教育」を行ってきました。

5年生は総合学習のテーマ「雄勝のホタテ養殖と漁業の復興を調べよう」です。ふるさとの漁業の復興を学ぶために、漁師の会社「OHガッツ（伊藤浩光代表）」の協力のもと、ホタテの養殖を体験しました。その体験学習をもとに、木版画集『雄勝のホタテ養殖』を制作しました。また学習のまとめとして、震災からの雄勝復興をイメージした共同木版画『希望の船』を制作しました。この船は雄勝で造船されという説がある伊達政宗の慶長遣欧使節団のサン・ファン・バプティスタ号です。その船に乗って子ども達が未来に向かって歩いていくという、ふるさと復興をイメージした共同制作です。



6年生は総合学習のテーマ『雄勝硯と町の復興を考えよう』で、雄勝硯を中心にふるさとの復興を学んできました。その過程で「雄勝石復興プロジェクト（小濱裕美代表）」の依頼で、石絵作家齊藤玄昌實氏の原画をもとに、題名『輝く』という富士山をモチーフにした雄勝石絵を制作しました。その雄勝石絵の披露式に東京駅まで招待された折に、東京駅舎を見て感動した6年生の子ども達が描いた版画が、木版画集『復元された東京駅舎』です。



(記 雄勝小学校教諭 徳水博志)

## 2012年度 雄勝小学校5年生 『雄勝のホタテ養殖』



杉山七海



高橋春仁



森山 凌



山下初華



佐藤龍司



藤本 京



佐野内朝陽

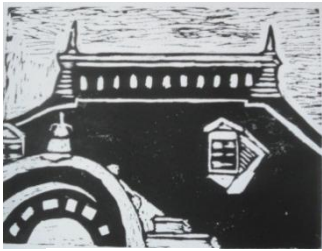


山下葉奈



遠藤遥斗

## 2012年度 雄勝小学校6年生 「復元された東京駅舎」



遠藤拓斗



伊藤倫弘



伊藤颯晟



遠藤源秀



上村紗樹斗



木村昂生



鈴木悠介



永沼梓沙



川田辰治

## 2012年度 雄勝小学校5年生 共同制作 「希望の船」

90×180cm

震災の夜の美しい星空

未来に向かって船で進む子ども達

生命と希望の象徴の太陽

津波に襲われる雄勝小学校校舎

復興した町と笑顔の家族



高台から見ている町の人達

たき火にあたる被災者

救援に来た自衛隊

復活した獅子舞

復活したホタテ養殖

復活した雄勝法印神楽